

以下、本文-----

研究課題「高齢者における超音波を用いた脱水評価に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2019年4月1日時点で満65歳以上のうち以下を満たさない方

- ①点滴治療を行っている方
- ②透析を行っている方
- ③人工呼吸器や在宅酸素を使用している方
- ④担当医が対象外と判断した方

2. 研究目的・方法・研究期間

高齢者は容易に脱水になりやすいと言われており、脱水は死亡率の上昇や医療費増大に繋がるため早期評価が求められています。脱水評価については現在のところ身体診察、血液検査、尿検査等を用いて総合的に判断しますが、病院外では検査を行うことが難しい状況も考えられます。

近年ベッドサイドで身体診察の延長として超音波を行うことの有用性が報告されています。超音波を用いた下大静脈径の測定は、主に救急・ICUの領域で脱水の評価として用いられてきました。下大静脈径の測定を病院外、特に施設入居の方の脱水評価として行った研究は未だありませんが、超音波検査は負担や苦痛を伴うことが少なく、リアルタイムでの評価が可能であり、メリットが大きいと考えられます。

そこで今回施設入居の方に超音波により下大静脈径を測定し、従来の脱水評価と比較し、また脱水に関する事象との関係についても明らかにしたいと考えています。

なお今回の研究期間としては実施承認日から2023年3月31日までとしております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢 性別 処方薬剤 併存疾患 質問票 超音波による下大静脈径 等
試料：血液 尿

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学

電話：052-744-2364

FAX: 052-744-2371

担当者の所属・氏名：名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学

長永 真明

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 老年内科 講師 大西 丈二

-----以上